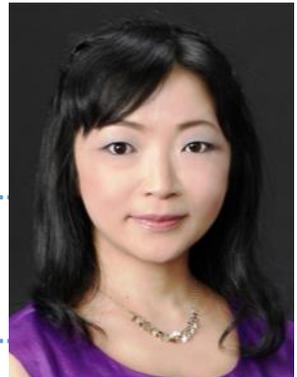




第44回 毎日こどもピアノコンクール 本選会・小学校5年生の部

審査員講評

さとうむつみ
佐藤睦美先生 (当番審査員)



今年の夏は記録的な猛暑で、予選、本選の期間の練習や体調の維持等、とても大変だったと思います。そのような中、本選会で皆さんの音楽性溢れる熱演を聴かせていただき、これまでの皆さんのご努力に、心より大きな拍手を送らせていただきたく思います。ご指導された先生のお力、ご家族の皆様サポートにも改めて頭が下がる思いです。素晴らしい演奏をありがとうございました。

今後、更に素敵な演奏を目指していただくために、少しだけアドバイスを書かせていただきます。

課題曲 基本的なことは、良くお勉強をされていました。多声部の其々のフレーズの理解も演奏に表れていたと思います。生き生きと音楽を奏でて下さり、大変嬉しく思いました。更に向上心を持ち取り組んでいただくために、
★各声部の音量ではない響きや、音色のバランスの追求 →どんな音色？ オーケストラの楽器だったら？ 声ならどんな声？ 等、興味を持って探り、イメージを深めていただけると、楽しみながら充実した勉強が出来ると思います。イメージした音色をつくるためには、指の面をどのくらい使うか、タッチのスピードをどうするか等で様々な音色が奏でられると思います。

選択曲 様々な時代の曲がありましたが、皆さん個性にあった曲を、伸びやかに演奏されていました。自然なアプローチ、気持のこもった表情豊かな演奏が多く、大変楽しく聴かせていただきました。次へのステップアップのために、
★左手の音楽の充実 ★音が無い部分への意識 ★更に息長いフレーズや曲全体の見通し
この点をもう少し意識されると更に多彩で立体的な音楽になると思います。つい、細かく動くパッセージや高音に耳が行きがちですが、左手のバス、テノールのフレーズは豊かに理想通りに演奏できているか？ 休符の意味、意義を的確に捉え、ブレスはしっかり出来ているか？ フレーズの頂点にどう向かい、どのように最後へ向かうか？ 等弾かずに楽譜を眺めて構築したり、楽譜を見ながら自分で指揮をして、全体の流れを把握し息づかいを感じてみることも、大変大切かと思えます。是非、実践してみてください。

今回、高レベルで素晴らしい演奏が続き、ほんの少しのことで残念な思いをされた方も沢山いらっしゃいました。審査は水物です。結果に一喜一憂されずに、また頑張っていたいただいと心より、願っております。皆さんの素晴らしい感性が更に磨かれ、次の舞台でまた聴かせていただける日を楽しみにしております!!!